

展覧会

長岡市の小さな美術館から 豊かな美を発信

秋山孝ポスター美術館長岡:企画展「高田清太郎の建築デザイン哲学」

世界的に活躍するグラフィックデザイナー秋山孝氏のポスターやイラストレーションなどのコレクションを展示している「秋山孝ポスター美術館長岡」(APM)は、2009年7月のオープン以来、秋山氏の色彩鮮やかなポスター作品の展示のほか、APM美術館大学として年5回の講演会を開催し、地域の文化活動の場として親しまれている。4月20日から5月25日までは、企画展「高田清太郎の建築デザイン哲学展」が開かれる。

長岡市で設計事務所を構える高田さんは、長



岡市出身の秋山氏の作品を国際的に研究できる美術館をつくろうと地元呼びかけ、1925年築の北越銀行宮内支店を現在の瀟洒な美術館にリノベーションした人物だ。APMのサポーターズ倶楽部会長も務める高田さんは「長岡市は第二次大戦では県内で唯一空襲を、2004年の新潟県中越地震でも大き

な災害を受けてきましたが、その都度、力強く立ち上がってきました。この精神は、戊辰戦争に破れた長岡藩において『どんな苦境にあっても教育をおろそかにできない』と主張した小林虎三郎氏の教育に

由来しています。この鉄骨造の歴史的建造物は、空襲の火を食い止め、中越地震にも生き延びました。美術館として再生した『APM』を豊かな美を感じる精神を育む場所としていきたい」と話している。

大正時代の面影を残す「秋山孝ポスター美術館長岡」